

高木復興大臣福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成27年12月3日(木) 13:10～13:13 於)いわき市)

1. 発言要旨

本日は、福島市において、福島復興再生総局の幹部会合に出席をいたしました。また、いわき市役所を訪問させていただきまして、清水いわき市長と意見交換を行わせていただきました。福島復興再生総局の幹部会合では、29年3月までの帰還困難区域を除く避難指示区域の解除に向け、除染の着実な実施、住宅、インフラや医療、買い物など生活サービスの確保、被災事業者の自立支援など生業の再生、中長期的なイノベーション・コースト構想の推進、また中間貯蔵施設や指定廃棄物の最終処分場の整備・確保の推進などについて、現状の報告がありました。私からは総局のメンバーを挙げて連携・協力をより密にして、こうした課題に取り組んでいくよう指示をさせていただいたところでございます。

また、いわき市長との意見交換では、市長から被災地でありながら多くの避難者を受け入れているいわき市の状況を考慮いただき、既存の企業立地補助金の延長や新たに検討している帰還支援のための企業立地補助金にいわき市を対象にすること、あるいはまた避難者の長期受入れに係る市の負担への国からの支援、いわき四倉中核工業団地第二期造成への支援、特区税制の延長や対象業種の拡大、福島復興加速化交付金の対象の拡大などについて要望がございました。私からは、企業立地補助金や税制要望について、関係省庁としっかり議論をしながら、市の財政負担もよく考慮して、交付税や交付金についても対応していくという話をさせていただいたところでございます。以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今のお話にもありましたが、いわき市から要望があった長期受入れに対する支援、ここに書いてあります住民票の扱いについてどのような考えをお持ちでしょうか。

(答) 今も申し上げましたけれども、多くの双葉郡からの避難者を受け入れられて、大変な御努力をいただいている、御苦労も多いということは重々承知もいたしております。そうしたいわき市の現状というものを踏まえて、これから総務省などとういった形で支援ができるのか、今も一定の支援をさせていただいているところでございますけれども、長期化される場合には、根本的にどのような方法があるのかなど等について、是非総務省を中心に相談をしていきたいと、私のほうから現状をしっかりと報告させていただきたいと、そういうことであります。

(問) 避難区域のほうでも原発事故の影響などまだもちろんあるんですけれども、いわき市でもやはりそういう原発事故の影響、いわき市しかり、ほかの周辺市町村もあると思いますが、その辺りの復興というのはどういうふうに考えていますか。

(答) 12市町村に限らず、周辺、いわき市を初め、そういったような現状であるということは認識をいたしているところでございます。

要するに、12市町村には12市町村のいろいろな課題がある。そしてまた、今おっしゃったように、周りにはまたいろいろな課題があると。いずれにしても、そうしたそれぞれの市、町にある課題というものに寄り添う形で、どういうことを要望しているのか、どういうニーズがあるのかということをきめ細かくいろいろお聞きをして、そしてその町、市にあった対応をしていくということではないかというふうに思っています。

(以 上)